

資料	3 - 5
平成 25 年 5 月 29 日 定例記者会見資料	

学校図書館連携システム導入

～多摩地域で3番目～

平成 25 年 1 月から、市内の全小・中学校図書館では、蔵書目録の電算化等の整備作業を実施しています。市立図書館では、作成された目録データを図書館で管理するサーバに取り込み、市立図書館と学校図書館との連携システムを 9 月から導入します。これにより、学校からも市立図書館の資料検索が可能になります。

また、学校司書 5 名を 6 月から採用し、研修を経て、9 月から 1 校週 2 日の配置を行います。

■システム概要

市立図書館のデータベース（約 44 万冊）に学校（約 10 万冊）の資料を取り込み、合わせて 54 万冊を一体管理し、各校での貸出、返却、資料検索などが可能になります。

■稼働時期

平成 25 年 9 月

■多摩地区の状況

26 市調査

○電算化の状況

「全校で電算化」15 市、一部電算化 5 市、未電算化 6 市

○データ管理

「各学校で管理」10 市、「教育委員会等事務局管理」8 市、「市立図書館一括管理」3 市（小平市、日野市、福生市）

■経費

図書館費 プログラム使用料 月額 68,250 円

小学校費 プログラム使用料 月額 55,300 円（7 校分）

中学校費 プログラム使用料 月額 23,700 円（3 校分）

■問合せ

福生市立中央図書館

電話 042-553-3111（直通）

5月1日リニューアルオープン！

わかぎり図書館に セルフケアコーナー新設！

一心と体のメンテナンスをお手伝いします！

■ セルフケアコーナーについて

近年「治療より、生活の中での予防、養生」「日々の生活を見直してアクティブなバランスを作る」という人々の健康への意識が高まっています。わかぎり図書館ではそのような利用者の健康に対する欲求に応えるため「セルフケアコーナー」を設置しました。

■ 事業内容

「セルフケア【self-care】」とは「自己管理のこと。医療機関や各種の介護サービス等といった他者からの援助よりも、自らが自立的に生命や健康生活を守ろうとする意志とその技法のこと」ですが、現在では幅広い使われ方をされています。新コーナーを「セルフケアコーナー」と名づけ「医療」や「健康」からはイメージしにくい、美容、ダイエット、アンチエイジング、ツボ、各種ボディワーク、食事療法、メンタルヘルスなど幅広く本を集めています。これは各個人に合った健康への方法を見つけ、深めてもらうことを目的としています。

また健康相談や栄養講座など市内で実施されるイベントの情報収集・提供を行います。



■ リニューアルオープン記念講演会

「手の治療力 -すこやかな心身を手に入れるために-」の開催について

日時：6月16日（日）午前10時～12時

場所：わかぎり会館・図書館2階会議室

講師：山口創氏（桜美林大学准教授）

備考：磁気ループシステムを使用

■ 問合せ

わかぎり図書館 電話 042-552-7421

資料	3 - 7
平成 25 年 5 月 29 日 定例記者会見資料	

明治 22 年～平成 4 年議会会議録をデジタル化 戦後の福生の子どもの意見をデジタル化

～図書館地域資料デジタル化 第 2 弾～

図書館では、このたび、明治 22 年からの福生市議会会議録、戦後の福生の子どもの意見をまとめた山崎珠算塾発行の『ふっさっ子』(第 1～5 集)ほか 97 タイトル、約 14 万ページのデジタル化を実施しました。

そのうち福生市議会会議録を含む 34 タイトルは図書館ホームページで閲覧出来ます。

市立図書館では貴重な地域に関する資料のデジタル化を進めることで、資料の保存だけでなく、市民の皆さんが自宅からも地域のことを学ぶ環境整備を進めています。

■主なデジタル化資料

『福生市議会会議録』(明治 22 年～平成 4 年)

福生村、熊川村の組合議会の議事録をデジタル化しました。

『福生市と横田基地』(平成 3 年、8 年、13 年、18 年、23 年)

5 年に一度改定される同書のデジタル化を行いました。

『ふっさっ子』第 1 集から第 5 集

福生の子どもの意見や生活をまとめています。第 1 集は 1969 年発行。

『福生歴史物語』等福生市郷土資料室発行資料 87 タイトル

福生市郷土資料室発行の地域資料のデジタル化を進めています。

など

■図書館ホームページ 福生デジタルページ

<http://www.lib.fussa.tokyo.jp/digital/>

■問合せ

福生市立中央図書館

電話 042-553-3111 (直通)